

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価

三瓶中学校では、次のような目的で学校評価を実施し、保護者や地域住民等から信頼される学校づくりを進めます。

- ・計画→実行→評価→改善のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。
- ・保護者アンケートは7月、12月の年2回です。
- ・保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果たし、改善への手掛かりを得ます。

令和7年度1学期末学校生活に関するアンケート結果 西予市立三瓶中学校

評価4：あてはまる 評価3：どちらかといえばあてはまる 評価2：どちらかといえばあてはまらない 評価1：あてはまらない

設問	質問内容	グラフ（保護者回答率96%）	%	評価4	評価3	評価2	評価1	肯定的割合	評価・分析・改善策等
1	三瓶中学校の生徒は、学校で楽しく、充実した生活を送っている。		教職員	58%	42%	0%	0%	100%	・教職員、生徒、保護者の9割以上が肯定しており、おおむね満足と言える結果ではありますが、更に一人一人が楽しく充実した生活を送ることができる学校を目指していきます。
			生徒	37%	55%	6%	2%	92%	
			保護者	29%	64%	6%	1%	93%	
2	三瓶中学校の生徒は、日々の授業の学習内容をだいたい理解できている。		教職員	0%	92%	8%	0%	92%	・昨年度よりやや改善したものの、生徒、保護者ともに否定的な意見も多く、本校の課題の一つと言えます。引き続き教職員の研修を充実させ、「分かる、考える、伸びる」授業の実践に努めていきます。
			生徒	27%	62%	9%	2%	89%	
			保護者	15%	63%	19%	3%	78%	
3	三瓶中学校の生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。		教職員	0%	67%	33%	0%	67%	・教職員、保護者ともに肯定的な割合が8割に達しておらず、大きな課題と言えます。自ら進んで学習に取り組み、粘り強く課題に取り組む生徒の育成に向けて、生徒が主役となる授業実践を積み重ね、主体的に学ぶ生徒の育成を図ります。
			生徒	23%	60%	16%	1%	83%	
			保護者	10%	64%	21%	5%	74%	
4	三瓶中学校の教員は、それぞれの生徒のよいところを認め、言葉や態度で伝えている。		教職員	33%	59%	8%	0%	92%	・肯定的な回答の割合は昨年度より増加していますが、十分満足できる結果ではありません。一人一人の個性を尊重し、丁寧に関わることにより、生徒の自己有用感を育てます。
			生徒	41%	55%	2%	2%	96%	
			保護者	20%	69%	10%	1%	89%	
5	三瓶中学校の生徒は、校則やスマホなどの学校のルールを守っている。		教職員	25%	67%	8%	0%	92%	・生徒及び教職員と保護者には大きな差があり、保護者から見ると守れていないと感じているようです。学校と家庭で連携をしながら、適切なSNS利用等についての学習を継続し、情報モラルの向上に努めます。
			生徒	72%	25%	2%	1%	97%	
			保護者	13%	58%	22%	7%	71%	
6	三瓶中学校の生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。		教職員	25%	75%	0%	0%	100%	・教職員及び生徒は肯定的な回答が多いものの、保護者の捉えとは差があります。いじめや差別は絶対に許されるものではないことを全員で再確認し、いじめをしない、させない、許さない風土を醸成していきます。
			生徒	75%	20%	5%	0%	95%	
			保護者	17%	60%	13%	10%	77%	
7	三瓶中学校の生徒は、あいさつの習慣が身に付いている。		教職員	17%	67%	16%	0%	84%	・教職員及び保護者の肯定的な回答の割合が低めであり、改善を図る必要があります。あいさつの意義を生徒に理解させ、時と場に応じた挨拶ができる学校を目指していきます。
			生徒	48%	47%	5%	0%	95%	
			保護者	24%	55%	19%	2%	79%	
8	三瓶中学校の教員は、教え方を工夫し、わかりやすく教えている。		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	・昨年度より肯定的な回答が増加しており、おおむね満足のいく結果と言えます。現状に満足することなく、今後も生徒の学力向上に向け、ICTを効果的に活用し、常に授業改善に取り組んでいきます。
			生徒	40%	55%	4%	1%	95%	
			保護者	15%	73%	10%	2%	88%	
9	三瓶中学校の教員は、いけないことはいけないと指導している。		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	・全体的に高い肯定率ではありますが、保護者からは否定的な回答もあるため、まだ十分に指導できていない場面があると捉え、一人一人とじっくり関わる中で、個に応じた適切な指導を行っていきます。
			生徒	68%	31%	0%	1%	99%	
			保護者	24%	62%	11%	3%	86%	
10	三瓶中学校は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	・教師、生徒、保護者共に昨年度より肯定的な回答の割合が増加しています。今後も保護者との信頼関係を構築しながら、一つ一つのことに丁寧に対応していき、いじめやトラブルの早期発見・早期解決に努めていきます。
			生徒	49%	46%	4%	1%	95%	
			保護者	16%	66%	15%	3%	82%	
11	三瓶中学校の部活動は、充実している。		教職員	25%	58%	17%	0%	83%	・保護者の評価が低く、否定的な割合も一番高くなっています。各部の活動の充実に取り組めるとともに、地域展開も含め、学校、家庭、地域が対話を重ねながら、よりよい方向性を見付けていく必要があります。
			生徒	39%	47%	10%	4%	86%	
			保護者	7%	41%	29%	23%	48%	
12	三瓶中学校は、学校の様子や教育方針を家庭への連絡（通信、ホームページ、電話連絡、家庭訪問など）によってわかりやすく伝えている。		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	・教職員、生徒は、ほぼ全員が肯定しており、満足のいく結果となっています。今後も、保護者のニーズにも応えながら、各種通信やHP等で積極的に学校の情報を発信していきます。
			生徒	57%	41%	1%	1%	98%	
			保護者	33%	59%	6%	2%	92%	

本校では『主体的に学び、共に認め合い、未来を切り拓く生徒の育成 ～知・徳・体のバランスを大切に、社会で活躍できる力を育む～』を学校目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。生徒は今年度95人で、少人数ならではのよさを生かし、一人一人の笑顔が輝く学校づくりを目指しています。昨年度と同様に学校生活に関するアンケートをオンライン上で行い、保護者からの回答率は96%でした。

学校評価を行うことにより、学校が自らの目標に対する達成状況の評価し、改善点を見つけて教育活動を充実させるとともに、評価の公表により、適切に説明責任を果たし、保護者や地域の連携協力による学校づくりを進めます。今回の評価を受け、高い肯定率だったものについては、さらに取組を充実させるとともに、課題となっている「学習への理解度」「自ら進んで学習に取り組む態度」については、指導の改善を図る必要があります。生徒が、自ら考え、自ら行動することのできる主体的な学びは、わかる授業を展開するための土台となるものです。今後も教職員が協働しながら、よりよい授業づくりを目指します。また、これまで以上に地域との連携が求められており、地域との関わりの中で学ぶとともに、中学生が地域に貢献できることに主体的に取り組む、地域と共にある学校づくりを推進し、未来を切り拓くことのできる生徒の育成を図っていきます。